

名 称	平成 25 年度 第 1 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成 25 年 10 月 28 日(月) 18:00～20:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファシリテーター) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長) 和智 英人 委員 (社団法人 横浜青年会議所 顧問)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 学校支援・連携担当課長 山本 秩朗 地域振興課 生涯学習支援係長 森脇 美也子 同 生涯学習支援係 佐藤 保 同 生涯学習支援係 川満 由佳
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部長 岡部 禎之 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 島崎 康子 同 スタッフ 望月 智子
欠 席 者	高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授) 平山 啓子 (保土ヶ谷区役所 地域振興課 生涯学習支援係)	

議 題	(1)平成 25 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成 25 年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成 25 年度上期 ほどがや市民活動センター 事業報告書一覧 3.平成 25 年度上期 施設利用状況 4.平成 25 年度上期 事業報告書 5.平成 25 年度上期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成 25 年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

*会議成立 委員 6 名中、5 名が出席。

ほどがや市民活動センター評議会会則第 8 条第 2 項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H25 年度第 1 回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1) 平成 25 年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

(1)-1

「平成 25 年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」について報告

- * 場の提供⇒各団体が定期的な活動を行っている為、部屋利用、機材利用、印刷機など一定のリピーターを得る事ができている。H25 年 4 月～9 月、利用者数 8,493 名、稼働率 51.0%。また、利用者からの意見を参考に、和室に高脚座椅子を導入、また照明を追加し、利用しやすくした。結果、和室の利用率は、昨年度同期と比べ、利用件数が 33 件増加、24.8%増につなげることができた。
- * 情報の提供⇒アワーズの広報媒体(メルマガ、ホームページ、情報紙)を提供することにより、より広く利用者の拡大に結びついている。情報を提供する団体や施設との連携も図れ、登録団体の情報を提供することで、団体の活動支援につなげることができている。ホームページのアクセス件数も、昨年度同期に比べ少しづつ増加している。(HP アクセス件数、H25 年 4 月～9 月 44,272 件 月平均 7,378 件/昨年同期 44,201 件 月平均 7,366 件)
- * 相談・コーディネート⇒H25 年 4 月～9 月、相談件数 187 件/昨年同期 190 件。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問) 和室の利用率が増えたとのことだが、利用が増えたのは、新規の団体もしくはリピーターの団体か。

(回答) やはりリピーターの団体が多い。今まで和室を敬遠していた団体も、座椅子が導入されてから利用する団体も増えた。また、今まで利用されていた団体からも、利用しやすくなったとご意見を頂いている。

(質問) 課題に、自治会、町内会の部屋利用を検討するとあるが、何が課題と考えているのか。

(回答) 現状、自治会、町内会は、印刷機、フリースペースの利用は可能だが、現状団体登録の受入れはしていない。ただ、今後地域と密着したかたちで考えていくと、部屋利用を検討する必要があると考える。

(質問) 情報紙に団体の情報を掲載した結果、このような反応があったというフィードバックはどのようにとらえているか。

(回答) 掲載された団体から、情報紙に載った後、何件か問合せがあり、反応があったという連絡は受けている。

(質問) ホームページに団体の情報は随時掲載しているか。

(回答) している。

(質問) 情報紙の記事の取材は誰がしているのか。一般市民や区民、協働運営会議のメンバーがやっても面白い記事がかけると思う。

(回答) アワーズのスタッフ。前回の評議会と同じようなご指摘を受け、その後協働運営会議で検討したが、定期的に取材、記事をかくことができるメンバーで対応するというのが難しく、見送りになっている。今後、不定期または単発でできる範囲で対応できるよう検討したい。

(質問) 相談内容の中で、「何かをはじめたい」というのが増えているが、その相談を受けたときに、どのような対応をしているのか。

(回答) 相談者との話の中で、ヒアリングしながら、相談者の好きな事、興味のあることにつながる情報を提供している。

【委員からの意見】

・件数、稼働率は昨年度とほぼ同数ということは、運営がうまくいっているという成果である。

夜間の利用率が伸び悩んでいるのは、他の区民利用施設でも共通の課題である。

和室を利用しやすくした結果、和室の稼働率が上がっているのは、運営を頑張っている証拠である。

- ・夜間、外からも入りやすく、利用者が利用しやすいように、照明を明るくすることを検討してみてもどうか。
- ・自治会、町内会への情報提供の機会としては、毎月 18 日に区役所で連合町内会を実施している、その場を上手く利用してはどうか。
- ・団体の情報掲載を広く受付できるよう、ホームページ上から記入用紙をダウンロードできるようにしたらどうか。
- ・ホームページのどのページがよく閲覧されているのか、またどのような検索サーチを利用して閲覧されているかリサーチすると良い。

(1)-2

「平成 25 年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「新たな担い手の視野を広げる」「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告

- * ボランティア入門講座⇒昨年度、ボランティア入門講座に参加した方を対象に、ボランティア交流会を区社協、子育て支援拠点こっころと実施。下期、ボランティア入門講座(3 回連続講座)を実施予定。
- * シニアライフ講座⇒人材育成関係事業に関わる関係部署の第 1 回連絡会議を 6 月 18 日に開催、8 月までに月に 2~3 回の連携会議を行い、情報共有が行えた。下期、シニアライフ講座(5 回連続講座)を実施予定。
- * IT 相談会⇒4 月~9 月、24 回開催、参加人数 248 名。数回利用される方もおり、リピーターの方も増えている。
- * 団体カススキルアップ講座⇒下期、1 月、2 月開催予定。

【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問) 今後、ボランティア入門講座は、福祉系に特化し、実施していくのか。ボランティア入門講座、一般的な内容のものは実施していないのか。位置づけ、継続性が明確でない。

(回答) 昨年度の施設連携会議の中から実施したボランティア入門講座の流れから、今年度も進めている。今年度は、社会福祉協議会、こっころと共催で、実施していく上で昨年度にならぬ、福祉系の内容を実施していく。次年度以降は、他の施設との連携も考慮し、広く、一般的な内容の講座も検討していきたい。

(質問) シニアライフ講座を、次年度、地域振興課主催「はぐくみ塾」へとつながる講座とあるが、これは具体的にはどう考えているのか。

(回答) シニアライフ講座は、企画、実施、広報など内容やカリキュラムのハードルが高く、展開が難しい。1 つ手前のステップとして、アワーズの講座に参加してもらい、つなげていくことを検討している。

(質問) シニアライフ講座を実施し、その後事後グループはできているのか。

(回答) 一昨年、昨年、それぞれグループが立ち上がり、現在も活動している。

(質問) IT相談会は、パソコンだけ対応しているのか。スマホなどの対応はしているのか。

(回答) 現状は、パソコンのみ。iPad 講座を下期、団体パソコンほどがや宿と共催で実施予定。

【委員からの意見】

- ・昨年度、ボランティア入門講座に参加された方に、次の企画やアイデアを出してもらい、今年度の講座の担い手、あるいは参画者としてしかけを作り、人材の発掘につなげてはどうか。
- ・はぐくみ塾とシニアライフ講座を無理に結びつけることはしない方が良い。むしろ、スキルアップ講座と連携した方が良い。
- ・スマホ講座などニーズに合った講座を実施した方が良い。
- ・スキルアップ講座は、マネジメント、資金、人材、自分たちの活動と見合わせた時に、活用できる内容のものを取り入れてはどうか。

<p>(1)-3</p>	<p>「平成 25 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「交流の機会を創出する」「街の学習応援隊」事業を報告</p> <p>*利用者交流会⇒第1回利用者交流会では、初めて参加した方も多数あり、アワーズ、協働運営会議の周知に結び付けることができた。「ほどじゃが」や音楽タイムの効果もあり、参加者同士が打ち解け、うまく交流を図ることができた。第2回、第3回は、下期開催。</p> <p>*協働運営会議の事務補助⇒下期、2月スキルアップ講座開催。また、生涯学習フォーラムに参加。</p> <p>*生涯学習フォーラムへの参画⇒フォーラムや実行委員会、役員会を実施。検討内容について参加。下期、生涯学習フォーラム実施。</p> <p>*街の学習応援隊⇒区民ギャラリー作品展では、多くの区民に見て頂き、アワーズ、応援隊についての周知ができた。下期、街の学習応援隊フェスタを実施。応援隊11組による、パフォーマンス発表や体験講座を実施。</p> <p>【委員からの質問とアワーズからの回答】</p> <p>(質問)街の学習応援隊の H25 年実績において、行政関係の依頼が、昨年度までと比較すると非常に増えているが、何か原因があるのか。</p> <p>(回答)主催事業からの依頼や、実行委員からの依頼が増えている。また、協働運営会議の小林代表からの依頼が多い。アワーズからの PR というより、口コミで広がり、依頼が増えていると考える。どのような所から依頼がきているのか、再確認し、さらに依頼が増えるよう努める。</p>
<p>(1)-4</p>	<p>「平成 25 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「区民利用施設との連携」、「広報・周知」、「評価・検証」、「研修」を報告</p> <p>*各施設との連携事業⇒下期、今井地区センター・今井地域ケアプラザ祭りにアワーズ相談コーナーを設置し、参画予定。また、星川地域ケアプラザ主催、ほっしーのわいわいフェスティバルに、アワーズの紹介展示で参画予定。</p> <p>*ものしりサプリメント講座⇒16 ミリフィルム上映会を実施。下期、「やさしく株式・投資信託を学ぶ」「はじめての iPad 講座」を実施予定。</p> <p>*情報紙・メルマガ発行⇒情報紙、年 4 回発行、メルマガ、毎月 15 日発行。</p> <p>*ホームページの管理・情報発信⇒情報発信のツールとして有効に活用できるよう管理している。</p> <p>*研修⇒市(教育委員会・市民局)主催の研修に参加。職員の全体定例会で報告発表、情報を共有し、スキルアップに努めている。</p> <p>【委員からの質問とアワーズからの回答】</p> <p>(質問)ボランティア交流会の主旨がよくわからない。</p> <p>(回答)ボランティア入門講座実施後、参加者同士の情報交換や交流を目的として実施した。</p> <p>(質問)メルマガ登録のきっかけはどのようにしているか。</p> <p>(回答)スタッフによる声掛け、またアワーズのHP上での登録を促進している。</p> <p>(質問)広報の掲載は、どのようなツールを利用しているか。</p> <p>(回答)アワーズ発信情報紙、メルマガ、HP、区報、タウンニュース他。</p>

	<p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア入門講座、ボランティア交流会、区内の各施設との連携で事業が重複している様に思える、事業の目的と内容を改めて明確にし、事業を一度整理した方が良いと思う。 ・事業立ての整理が必要(「情報の受発信」と、「広報・周知」の事業の内容が重複している。) ・情報紙の製作の作業や、取材などを一部、区民及び協働運営会議の方にお手伝いして頂いたらどうか。 ・協働運営会議の方々から情報紙の内容を含んだ全般的なご意見をもらうことも必要である。 ・職員が名刺交換をした方のアドレスを自動的に登録する様にして、メルマガ登録者を増やしてはどうか。利用者だけではなく、活動センターに関わった方への周知を広めた方が良い。 ・一般新聞紙(朝日、読売、神奈川新聞)への情報提供を積極的に行ってはどうか。
<p>議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から</p>	
	<p>「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成 25 年度上期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会 5/25 開催。 ・拡大ミーティングは、4/11、5/14、6/20、7/29、8/22、9/25 の 6 回実施。 ・まなぶん祭りに参加予定。 ・利用者交流会 第 1 弾 7/20「ほどじゃが食べて活動自慢」参加者 33 名、第 2 弾 10/1「見学会」参加者 43 名で実施。第 3 弾は、1/18 開催予定。 ・上期全体会 8/31 開催。 <p>【委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者交流会を、今までのしゃべろうかい(グループトーク)の形式から、少し内容を工夫し、参加して楽しくなるような企画は、良いと思う。
<p>課題(3)評価シート記入</p>	
<p>議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)</p>	

以上